Horizon 2020 情報セミナー 基礎コース 2018. 2. 9.

> ホライズン2020の概要と応募に 向けた基本情報

> > (Part 2)

Stijn Lambrecht
Project Manager, NCP Japan / EEN Japan
EU-Japan Centre for Industrial Cooperation









概要

- 1. H2020で知的財産権の扱い
- 2. H2020のため欧州とのパートナーシップの構築 エンタープライズ・ヨーロッパ・ネットワーク等



1. 知的財産権の扱い

Horizon 2020における知的財産権:協定資料



2重要となる書類:

- Grant Agreement: コンソーシアムパートナーと欧州委員会との間で締結するプロジェクト資金等についての基本的条件を定めた協定です。
- Consortium Agreement: コンソーシアムパートナー間での権利、義務を定めた協定です(欧州委員会との協定ではありません)。

原則、知的財産権はConsortium Agreementで決定します。 但しGrant Agreementに反する内容を含める事はできません。

注意点:

- MIC/NICTの共同公募の場合: Consortium Agreementは欧州の参加者のみ署名します。 日本の参加者と欧州の参加者は別途Coordination Agreementに署名します。
- JSTとの共同公募の場合:日本の参加者とEUの参加者はConsortium Agreementへの署名が必要です。
- RISEというプロジェクトの場合: Consortium Agreementは欧州の参加者のみ署名します。 日本の参加者と欧州の参加者は別途Partnership Agreementに署名します。
- Grant Agreementに記載される幾つかの義務設定はEUの助成を受けないパートナー機関に は適用されません(例:成果に対するEUの権利について定められた条文です)。

Horizon 2020における知的財産権:背景資料



知的財産に係る資料をご確認ください。

資料	知財関連
Rules for Participation (参加規定)	Horizon 2020の助成に係る法制度
<u>Work Programme</u> (ワークプログラム)	公募の文章に欧州委員会が欧州の戦略的 利益のため制限している場合があります
Annotated Model Grant Agreement協定注釈付モデル (AMGA)	該当するプロジェクトタイプ(RIA, RISE等)の セクション
Model Consortium Agreement (コンソーシアム協定モデル)	IPRにあたる部分(DESCAモデルでは Section 8 の成果、Section 9のアクセス権)

Horizon 2020で使用される 知財概念・基本規則 (1)



バックグラウンド (Background):

参加者がGrant Agreementの合意前に所有する情報、データ、ノウハウ、権利(有形無形は問わず)

プロジェクト成果(Results):

プロジェクトによって有形無形を問わず様々な形態(例:プロトタイプ、試料など)で生み出されるすべての情報、データ、知見及び付随する権利



アクセス権(Access Rights):

プロジェクト結果及びバックグラウンドを使用/活用する権利(無償・有償)

Horizon 2020で使用される 知財概念・基本規則 (2)



所有権(Ownership)

- 当該成果を創出したプロジェクト参加者自身が研究成果を所有することです。
- 所有権の共有:参加者が共同で研究結果を生み出し、研究成果の分割が難 しい場合においては別途合意を結ぶ必要があります。

保護(Protection)

各参加者は可能な限り適切な範囲内で成果を保護しなくてはなりません。

活用(Exploitation)

参加者は今後の研究や事業化等、直接的/間接的に成果を使用する事に努めなくてはなりません。

普及活動(Dissemination)

参加者はなるべく早急に成果についての情報を発信する必要があります。 但し、成果の保護、安全性規制及び正当な商業的利害関係によっては制限 の対象となります。

日本からの参加のご注意点



EUから助成を受け取らない参加者も知的財産権に係る基本規則の対象である 事は変わりません。

但し、EUから助成を受け取らない機関には該当しない項目があります。 該当しない項目:26.4,28.1,28.2,30.3,31.5(成果に対するEUの権利)

例: 第28条:参加者は今後の研究や事業化等、直接的/間接的に

成果を使用する事に努めなくてはなりません。

第30.3条:欧州委員会が所有権の譲渡又はライセンスの付与に

反対する権利

source: https://www.iprhelpdesk.eu/printpdf/2341

ヨーロッパに所在地を置く日本の関連会社からの参加も可能です。 Horizon 2020の規則では、各パートナー機関は自身のプロジェクト成果を サードパーティ(例:母体となる親会社等)に移転する権利を持ちます。

但し、第三国(日本などEU加盟国・関連国を除いた国)への所有権の譲渡又は ライセンスの付与について欧州委員会は反対する権利があります。

Horizon 2020知財に関する資料



① www.ncp-japan.jp/participation/applicationdocs @ # 知財に関する資料 Rules for Participation (参加規定) (PDF 23ページ) IP Management in Horizon 2020: proposal stage 【日本語訳】Horizon 2020におけるIP管理:提案段階 (PDF 13ページ) IP Management in Horizon 2020: grant preparation stage 【日本語訳】Horizon 2020におけるIP管理方法:助成金準備段階(PDF 12ページ) IP Management in Horizon 2020: project implementation and conclusion 【日本語訳】Horizon 2020におけるIP管理方法:プロジェクト実施及び終結(PDF 12ページ)



2. 欧州とのパートナーシップの構築

パートナーシップ形成のための無料ツール NCP Japa



まず、ヨーロッパの既存パートナーに声をおかけください。



Horizon 2020 テーマ別Info Days 及び マッチングイベント



Horizon 2020 National Contact Point (NCP) Networks



Enterprise Europe Network (EEN)



Horizon 2020 Participant Portal

また、EURAXESS, LinkedIn等様々な探し方があります。

パートナー探しの場合、センターまでお問い合わせください。

A. Horizon 2020 情報イベント



Horizon 2020におけるエネルギーや環境、ICT、そして宇宙など、特定分野のワークプログラムについて情報イベントが開催され、大勢の応募者が参加します。

これらのイベントはほとんどの場合、多くのHorizon 2020の新規公募が開始される年の下半期に開催されます。

通常のイベントの構成:

- 情報会合:それぞれの公募の背景・詳細
- マッチングイベント:他の応募者と個別 ミーティング



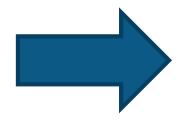


B. Horizon 2020 National Contact Points (NCP) Networks

NCPは現地でのHorizon 2020のサポートを提供することを目的に、欧州諸国と多くの第三国で運営されております。

このサービスの目的は、Horizon 2020参加にあたってのガイダンス、実務的な情報や支援を提供することです。

欧州のNCPには分野毎に担当者がおり、担当者間で分野毎NCPネットワークを組み、連携活動に関与しております。例えば、宇宙(コスモス2020ネットワーク),健康(HNN2.0ネットワーク),情報通信(IDEAL-ISTネットワーク)があります。



それぞれのネットワークを利用してパートナー探しができます。登録希望される場合は、NCP Japan (於日欧産業協力センター)に連絡ください。

C. エンタープライズ・ヨーロッパ・ネットワーク(EEN)



国際パートナーシップサポート・パートナー探し

インターネット経由のマッチング

EENデータベースには約8,000件のパートナー探しのプロフィールが登録されています

16のキーセクターのエキスパートによるプロフィール交換

マッチングイベント

ヨーロッパ及び日本にて開催

- ✓ ビジネスパートナーシップ
- ✓ 技術パートナーシップ
- ✓ 共同研究



エンタープライズ・ヨーロッパ・ネットワーク(EEN)は、欧州委員会が運営する中小企業国際化支援プログラムです。 EU中小企業や研究機関・大学等とのビジネス・技術提携・研究開発でのマッチングを無料で支援しています。 日本ではあらゆる企業、研究機関・大学が支援の対象となります。

600以上のサポート機関ネットワーク ・ 約3,000人のEEN担当者

日本におけるEENパートナー機関:日欧産業協力センター

技術関係プロフィール種類



共同研究リクエスト

➤ ヨーロッパの研究プログラムに参加したい(Horizon 2020の特定公募)

技術オファー

- ▶ 貴社・貴学の技術をヨーロッパの会社にライセンス供与したい
- ▶ 貴社・貴学の技術をヨーロッパとの共同研究・開発で活用したい (Horizon 2020の特定公募ではない場合)

技術リクエスト

- ▶ ヨーロッパの技術をライセンス・インにより導入したい
- ➤ 特定タスクの技術協力パートナーを捜したい(Horizon 2020の特定公 募ではない場合)

プロフィール記入時には、EEN-Japanがサポートします

ご要望に応じて、ビジネスオファー及びビジネスリクエストのプロフィールもご利用いただけます。

EENのデータベースはご自由に閲覧、検索ができます。例: NCP Japa



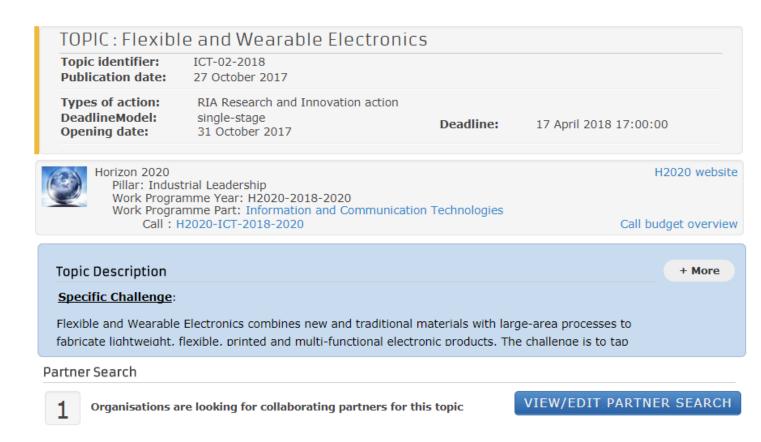
Details-				
Title:		Horizon2020 - SC1-PM-02-2017 - A Czech research centre is looking for partners and a coordinator for project to be submitted under "New concepts in patient stratification" call		
POD Reference:		RDCZ20160520001		
Detai	ils			
Title:		H2020-IND-CE-2016-17 Call – TOPIC PILOTS-03-2017: Pilot Lines for Manufacturing of Nanotextured surfaces with mechanically enhanced properties – a research institution is seeking for a coordinator and partners		
POD Refere	ence:	RDBG20160801001		
Summary:		A Bulgarian R&D institution and partners are preparing a project proposal on the H2020 TOPIC: PILOT Lines for Manufacturing of Nanotextured surfaces with mechanically enhanced properties. The team seeks a coordinator and partners (R&D institutions and companies) involved in the development and production of advanced materials and specialised technologies to obtain innovative modified coatings. Applications of the technologies are expected to be inter-sectoral.		
Descri		Nano-enhanced functional surfaces have huge potential in various industrial sectors but the involved technologies to manufacture these surfaces or coatings are currently at a lower TRL level. Thus, there is a need for up-scaling, demonstration and validation in large scale pilot installations in operational environments, before industrial manufacturing can take place.		

含まれる情報: H2020公募名、パートナー募集に関する概要および詳細、 コンソーシアムメンバーに求められている専門性やバックグラウンド、期待される役割、 条件、など

D. Horizon 2020 Participant Portal



Participant Portalによる、パートナー探しの仕組み 公募情報のページで貴学・貴社の公募へのご関心を知らせることができます。



LEARs, Account Administrators or self-registrants can publish partner requests for open and forthcoming topics after logging into the Participant Portal.

http://ec.europa.eu/research/participants/portal/desktop/en/home.html

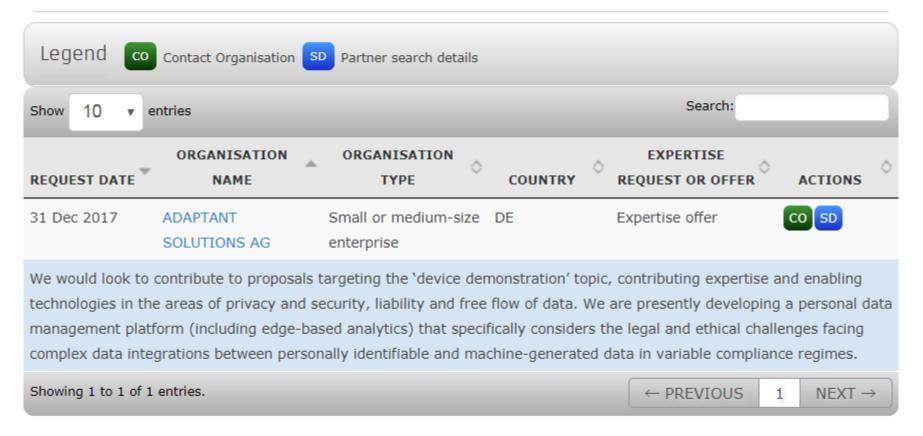
例:





Topic : Flexible and Wearable Electronics (ICT-02-2018)

Partner Search



LEARs, Account Administrators or self-registrants can publish partner requests for open and forthcoming topics after logging into the Participant Portal.





サービス名	対象	メリット	プライバシーレベ ル
H2020情報イベント	全ての機関	直接に応募者と面談 特定のH2020公募番号 は要りません	ID開示あり (組織名、個人名 ともに公表)
NCP Networks	全ての機関	簡単なプロフィール 研究機関に近い専門家 のネットワーク	匿名もあるがID 開示もあり
EEN	欧州:中小企業、 研究機関 日本:全ての機関	特定のH2020公募番号 は要りません EU中小企業との連携が 強いです	匿名・ID開示なし
H2020 Participant portal	全ての機関	正式な公募情報でご関 心がある公募に短いプロ フィールで十分です	ID開示あり



ご清聴ありがとうございました

National Contact Point Japan (NCP Japan)

- → 山田 尚道・ステイン ランブレヒト
- →小田 扶実子・関口 悟
- →日欧産業協力センター
- → E-mail: ncp-japan@eu-japan.gr.jp
- → Website: http://www.ncp-japan.jp/